

AABE Newsletter

Special Edition for The Participants of AABE Program 2019

リードコラム

- 1「事前学習会の意義」
- 2「刺激をエネルギーへ」
- 3「問題意識＝財産」
- 4「帰国後脳内大混乱
－体験から深化まで－」
- 5「シンプルに楽しい！」

こんにちは。AABE 学生アシスタントの佐久間彩果(上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 3年)です。今回は AABE のプログラムに参加を決めてくださった皆さんに向けて、自身の体験(Mero Sathi Project Feb 2019 参加)を交えながら AABE プログラムの意義や主旨、知っておいてほしいことを中心に5つのテーマに分けてまとめてみました。プログラム開始まで残り数ヶ月！出発するまでの皆さんの参考になれば嬉しいです。

「事前学習会の意義」

・事前学習＝自己防衛！ / ”参加者の皆さん”から”頼れる友人たち”へ

事前学習会の意義は大きく分けて2点あります。1つはプログラムに設定されたテーマに関する学びができること。現地に行ったときに自分のことを守れるのは持っている知識。つまり事前の勉強です。また、事前学習会で現時点での考えや学習を書き残すなどしておけば帰国後に比較でき、現地での学びを浮かび上がらせることが容易になるというメリットもあります。そしてもう1つは日本人メンバーとの仲を深めることができるところにあると思います。出発前に日本人の参加者同士がどこまで仲良くなれるか？これはプログラムの充実さに差をつけます。実際に現地での活動が始まった際、日本人参加者探りから始まるのか、現地の学生探りから始められるかで、交流の質は確実に違ってくると思います。自分を出すのに時間がかかる人も「自分のペースで一人一人と仲良くなる戦法」で一緒に頑張りましょう！



<体験談>プログラム期間中は相手から吸収するばかりでなく発信しなければならない場面も幾度となく訪れました。(ex プレゼン時やリフレクションタイム)その際中身のある発言ができず、私は出発前の自分を何度も恨みました。こうならない為に皆さんは今から対策ができるはずです！

「刺激をエネルギーへ」

SNS 紹介

<Web Page>

<http://aaee.jp/>

<Facebook>

<https://www.facebook.com/Asia.AssociationofEducationExchange.jp/>

<Instagram>

@aaee_japan

<Twitter>

@aaee_japan

<Youtube>

<https://www.youtube.com/channel/UCY4EQVqurFT8BdAoVjlpLw>

現地学生に圧倒→刺激(or 恥)→努力

国を背負って勉強している同世代にきっと多くの参加者の方が白旗を上げることになるかと思いますが、誰かに慄く経験は普段なかなか味わえません。大切なのはアンテナを張り続け”小さな気づきと芽生えた感情”(ポジティブなものもネガティブなものも)すべて大切にしてプログラム期間を過ごすことだと思います。

<体験談>英語力に加え飛び抜けるプレゼンスキルと物怖じしない姿勢をもつ自分より年下のネパール人学生を前に私は自身を猛烈に恥じました。「将来社会に出た時、彼らと同じフィールドに立てるだろうか?」「グローバルパートナー? ...とてもじゃないが歯が立たない笑(圧倒的力不足)」この気持ちはどちらかというマイナスなものかもしれませんが、恥ずかしいほどの刺激を受け、そしてこの刺激がのち、エネルギーに変わるきっかけになりました。



「問題意識＝財産」

・他愛のない会話から見えてくるもの

プログラム期間中は貴重な瞬間の連続です。異国の優秀な学生と密な交流ができ、彼らと語り合える貴重な機会。そこで繰り上げられる会話から、設定してあるテーマ以外の問題が必ず見えてくると思います。厳しい現状に実際に直に触れ、ケースによってはもどかしさや悲しみ、怒りなどを覚えるかもしれません。しかし、そこから芽生える問題意識は私たち学生に

とって何より価値あるものであるはず。何かが始まるきっかけになり得ると考えます。何にも変えられないユニークな経験を大事にしてほしいです。



<体験談>ネパール人参加者の中に、ギャップイヤーをとっている女の子が2人いました。自国の抱える課題を解決するために高度な教育を求め外国の大学進学を望んでいましたがVISAの申請許可が中々おりないと話す彼女たち。その理由に「ネパールだから、女だから」と話していてショックを受けました。ネパールは国としての信用度が非常に低く、純粋に教育を求め申請をしても売春などで国境を越えるネパール人女性が多いため、VISAが降りづらいといえます。彼女たちの優秀さを目の当たりにしたからこそ悔しい気持ちになりましたし誰よりも悔しいのは彼女ら自身であるでしょう。国際協力を謳う世界であるにも関わらず、開発途上国出身者(国を変えたいと願う存在)に厳しい世界に疑問を抱きました。

「帰国後脳内大混乱 -体験から深化まで-」

・帰国後の活動の意義

「何が起きたんだろう...よくわからないが楽しかった。」ここで終わればせつかくの貴重な体験がただの国際交流付き海外旅行に終わってしまいます。体験を経験にする為には大混乱の頭を整理させる必要があります。現地で参加者とお別れ会をしたらそれで終わりでしょうか？いえ、AAEEのプログラムは帰国後の報告会をもって初めて完結します。「報告会？報告書？面倒臭そう...」そう思った方も少なくないでしょう！しかし、現地での交流と同等の価値が帰国後の活動にもあると私は思います。報告書や報告会に向けて行う作業の過程に深化があり、この先で「成果」を実感できるはずですよ。その意味で、報告書の提出と報告会への参加が義務づけられているAAEE主催プログラムは魅力的と言えるでしょう。ぜひ面倒臭がらず楽しんでほしいと思います。そしてAAEEの報告会は公共性のあるイベント。(毎回外務省・JICAの後援のもと行われています)参加者の皆さんにとって非常に貴重な機会ですよ！

<体験談>帰国後は各個人で学びが完結していました。しかし帰国後ミーティングでそれぞれ共有してみると、同じ経験をしていても感じ方に違いがあるため、各々が至った結論には共通するものもあれば、考えもしなかったものもあったのです。帰国後、学びを参加者全体で共有することで初めて自身の体験を包括的に理解できたと感じました。報告会に向けて経験を学びとして形作る作業は大変でしたが、大切な記憶に支えられながら深化を楽しみました。

過去の報告書

<http://aaeejapan.blogspot.com/>



↑今年も東京(JICA 地球ひろば)での報告会に加え関西(関西 JICA)でも報告会を行いました。(写っている人物)AAEE 代表理事 関昭典, AAEE 学生アシスタントリーダー 大瀬朝楓, 学生アシスタント, Mero Sathi Project Feb 2019 参加メンバー

「シンプルに楽しい！」

・グローバルパートナーシップの構築へ

国際交流や海外研修はシンプルに楽しいですよ。見慣れない景色・慣れない食生活・独特な匂いなど...五感で異国を感じ、全てが新鮮。そしてそれらに気をとられる暇もないほどに充実したスケジュールを異なるバックグラウンドをもつ同世代と共に過ごす毎日は楽しくないはずがないのです。もちろん同時に困難もあるでしょうが、それらを乗り越え共に過ごした2週間は私たちと同じように現地の学生にとってもかけがえのない経験になっているはず。両国からの参加者にとって、このような楽しかった毎日はプログラム終了後、あらゆる刺激と相まって原動力になっていくと私は考えます。自分を動かし続けられるエンジンになる。現地での思い出や出会った人々との友情が心の中で生き続け、(個人レベルで)世界にネットワークが構築されてゆく。これから国境を越えて共有していく楽しい経験の数々と育んでいく友情が参加者の皆さん全員をグローバルパートナーとしてこれから固く繋げていくことになるでしょう！

さいごに

最後まで読んでいただきありがとうございました。いよいよ出発に向け、これから事前ミーティングが開催されていきますね。ここから報告会までの約半年間、プログラムを実際に作っていくのは参加者である皆さん自身です！学生主体の国際交流プログラム、これも AAEE プログラムの魅力のひとつですね。

さいごに、夏に待っている AAEE プログラムが皆さんにとってかけがえのない日々になることを願って、号外ニュースレターでした。

AAEE 学生アシスタント

佐久間彩果

